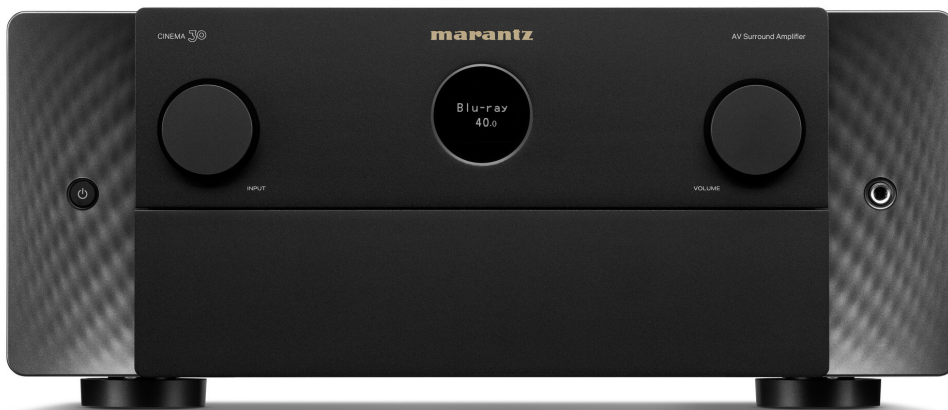


marantz®



CINEMA 30

2024年2月28日

11.4ch AV サラウンドアンプ

希望小売価格：770,000円（税込）

カラー：ブラック

JAN/EANコード：0747192140489（CINEMA30/FB）

発売時期：2024年3月中旬

AV 10、AMP 10 の設計思想を継承するマランツ史上最高の一体型 AV アンプ
最大 13.4ch プロセッシングに対応し、圧倒的な 3D オーディオ体験を実現

Key Features

- ・ 新世代のマランツデザイン
伝統的なデザインエレメントを受け継ぎながら、現代的な解釈により生み出された新しいハウジング
- ・ Dolby Atmos、DTS:X、IMAX Enhanced、Auro-3D、MPEG-H、MPEG-4 AAC に対応
新世代の 3D オーディオフォーマットを網羅。パワーアンプの追加で 13.4ch までの拡張が可能
- ・ 独立基板型 11ch フルディスクリット・パワーアンプ
実用最大出力 250W（6Ω、1 kHz、THD 10%、1 ch 駆動）を実現。5ch バイアンプ駆動にも対応
- ・ HDAM-SA2 搭載 13.4ch 電流帰還型プリアンプ
Hi-Fi オーディオコンポーネントと同一の回路構成の採用により、情報量と密度感が向上
- ・ 8K/60Hz、4K/120Hz、HDR10+、HDCP 2.3、eARC に対応
最新の映像コンテンツを楽しむための新規格に幅広く対応。7 入力が 8K/60Hz、4K/120Hz に対応
- ・ HEOS テクノロジーを搭載した先進のネットワーク機能
ストリーミング（Amazon Music HD、AWA、Spotify）、インターネットラジオ、ハイレゾファイル再生
- ・ Wi-Fi、AirPlay 2、Bluetooth®、Alexa 対応
ワイヤレスで手軽にミュージックストリーミング。Bluetooth 送信にも対応。音声でハンズフリー操作
- ・ より美しく、使いやすく洗練されたインターフェース
HD GUI、セットアップアシスタント、Marantz AVR Remote アプリ、スマートセレクト機能



新世代のマランツデザイン

CINEMA 30 には、2020 年に発売された「MODEL 30/SACD 30n」、および 2022 年 3 月に発売された「MODEL 40n」と同様に、新世代のマランツを象徴する筐体デザインが与えられています。これは、シンメトリーやポートホールに代表されるマランツの伝統的なデザインエレメントの継承と現代的な解釈による再構築を経て、これからのマランツを象徴するまったく新しいデザインとして生み出されたものです。印象的でありながら、様々なスタイルのインテリアに調和する普遍性を兼ね備え、住空間にオーナーの個性を反映させる、これまでにないオーディオのデザイン。それが新世代のマランツデザインの目指したものです。そして、新しくなったのはデザインだけではありません。デザインの刷新に伴って機構設計の見直しが可能となり、トップカバーやシャーシを構成する鋼板の形状や各部を固定するネジの太さや本数を最適化することにより、ビルドクオリティも大きく進化しました。

3D オーディオフォーマット Dolby Atmos、DTS:X に対応

CINEMA 30 は、新世代のオブジェクトオーディオ技術 Dolby Atmos、DTS:X に対応。頭上も含む全方位に展開する自然な音響空間に包み込まれることにより、まるで映画の世界に入り込んだようなサラウンド体験が可能になります。CINEMA 30 は 11ch のパワーアンプを搭載しているため、本機のみで 5.1.6ch、7.1.4ch システムを構築できます。さらに、2ch パワーアンプを追加すれば 7.1.6ch までシステムを拡張することができます。ソースがハイトスピーカー信号を含まない従来のチャンネルベースのコンテンツであっても「Dolby Surround」や「Neural:X」で 3D サウンドにアップミックスして立体的な 3D サウンドを楽しむことができます。



IMAX® Enhanced に対応

CINEMA 30 は、IMAX と DTS による厳格な性能基準を満たす IMAX Enhanced 認定製品であり、IMAX と DTS の技術によってデジタルリマスターされた IMAX Enhanced コンテンツの再生に最適化されたサウンドモード「IMAX DTS」、
「IMAX DTS:X」が使用可能です。これにより、ホームシアターにおいてかつて経験したことがないほどのクオリティで、映画制作者の意図通りに IMAX Enhanced コンテンツを再生することができます。



Auro-3D® に対応

CINEMA 30 は、Auro-3D デコーダーを搭載しており、5.1ch システムにフロントハイト (FHL+FHR)、センターハイト (CH)、サラウンドハイト (SHL+SHR)、およびトップサラウンドスピーカー (TS) を組み合わせた 11.1ch システムで、自然で臨場感豊かな 3D サウンドを楽しむことができます。また、パワーアンプを追加すれば、サラウンドバックを加えた 13.1ch での再生が可能になります。Auro-Matic®アルゴリズムによって、モノラル、ステレオおよびサラウンドコンテンツを自然な 3D サウンドにアップミックスすることもできます。

※Auro-3D の再生には、5.1ch のスピーカーシステムにフロントハイト、サラウンドハイト、トップスピーカーを追加したスピーカー構成が推奨されていますが、フロントハイトやサラウンドハイトスピーカーの代わりに、リアハイトスピーカーや天井スピーカー、Dolby Atmos Enabled スピーカーを使用して、Auro-3D コンテンツの再生を行うこともできます。

MPEG-H 3D Audio (360 Reality Audio) に対応

MPEG-H Audio は、フラウンホーファーIIS が開発したリスナーの周囲だけでなく上からのサウンドも通じて、よりリアルで自然なサウンドを提供する新しい次世代オーディオ技術です。CINEMA 30 は、同技術を基盤とする 360 Reality Audio コンテンツを HDMI 端子から入力して再生することができます。

MPEG-4 AAC に対応

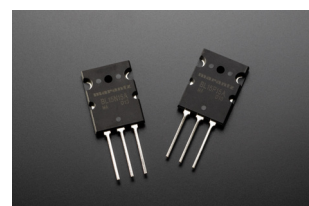
CINEMA 30 は、新 4K/8K 衛星放送で使用されている音声フォーマット MPEG-4 AAC (ステレオ、5.1ch) に対応しています。4K や 8K の超高解像度な映像を臨場感豊かなサラウンドサウンドと共に楽しむことができます。

Dolby Atmos Height Virtualizer、DTS Virtual:X に対応

CINEMA 30 は、最新のバーチャル 3D サラウンドテクノロジーDolby Atmos Height Virtualizer および DTS Virtual:X に対応しています。これらの機能を有効にすれば、ハイトスピーカーやサラウンドスピーカーを設置していないステレオ、5.1ch、7.1ch などの環境においても、高さ方向を含むあらゆる方向からのサウンドに包み込まれるイマージブオーディオ体験が可能になります。3D サラウンドフォーマットの信号はもちろん、ステレオや 5.1ch 信号に対しても適用することができるため、既存のコンテンツも臨場感豊かに楽しむことができます。

独立基板型 11ch フルディスクリット・パワーアンプ

CINEMA 30 は、Hi-Fi コンポーネントに匹敵するレベルのチャンネルセパレーション、空間表現力を実現するために、11ch のパワーアンプすべてを 1ch ごとに独立した基板にマウントする独立基板型のパワーアンプを搭載。個々のアンプをハイスピードなフルディスクリット回路で構成することにより、チャンネル間の音のつながり、立体的な音響空間への没入感を最大化しています。パーツ一つ一つの選定や回路設計の自由度が高いフルディスクリット回路であるため、Hi-Fi コンポーネントと同様に、原音への一切の色付けを排除した忠実なサウンドを追求することが可能です。パワートランジスタには、サプライヤーとの 4 年間に及ぶ共同開発を経て完成した、カスタムパワートランジスタを新たに採用。プレミアムグレードならではの高音質パーツを多数採用し、より高解像度で情報量の豊かな、Hi-Fi サウンドを実現しました。肉厚なアルミ押し出し材を使用したヒートシンクに 1mm 厚の銅板を追加することにより、放熱効率をさらに高め、大きな発熱を伴う大音量再生時であっても、安定性の高いスピーカー駆動を実現しています。実用最大出力は 250W (6Ω、1kHz、THD 10%、1ch 駆動) に及び、低効率なスピーカーも余裕をもって駆動することができます。



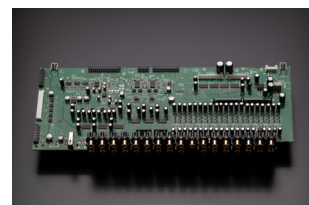
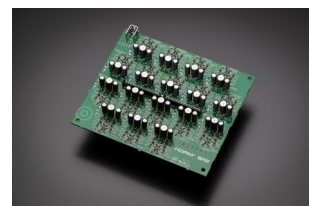
圧倒的な余裕を誇る電源回路

アンプの性能の根幹を支える電源回路のキーパーツには入念なリスニングテストによって厳選された高音質パーツを贅沢に使用しています。パワーアンプ回路に電源を供給するブロックコンデンサーには CINEMA 30 専用に開発された大容量カスタムコンデンサー（22,000 μ F ×2）を採用。電源トランスには、一体型 AV アンプの最上位モデルにふさわしい大型のトロイダルトランスを採用することにより、Hi-Fi アンプ同様の繊細な表現力と大音量再生時にも限界を感じさせることのない、圧倒的な余裕をもった電源供給を実現しています。電源部の強化と同時にパワーアンプなどの周辺回路の細部に至るまで徹底した音質チューニングを行うことにより、きめ細かく表情豊かな音色と透明感が高くより深い奥行きを感じさせる空間表現力を実現しています。



HDAM-SA2 搭載 13.4ch 電流帰還型プリアンプ&プリアンプモード

CINEMA 30 は、13.4ch すべてのプリアンプ回路にマランツが誇る高速アンプモジュール HDAM-SA2 を採用しています。HDAM-SA2 回路は、筐体内のアナログ伝送経路を低いインピーダンスに保ち、音質改善に大きく貢献します。HDAM-SA2 の特長である広帯域にわたるフラットな周波数特性と安定した位相特性、低ノイズ、そして極めて高いスルーレートは、オペアンプ IC では成しえないものです。繊細なアナログディスクリート回路で構成される HDAM-SA2 回路には、AMP 10 で新たに採用された小型のコンプリメンタリー低ノイズトランジスタを採用しています。さらにサウンドマスターがリスニングテストを繰り返して厳選した高音質カスタム電解コンデンサーも採用されています。CINEMA 30 では、HDAM-SA2 を千鳥格子上にレイアウトすることにより各チャンネルの信号ラインを最短化しています。



また、入力セクター、ボリューム、出力セクターそれぞれの機能に特化した高性能カスタムデバイスを用いることによりプリアンプ回路全体の信号経路を最短化。不要な信号経路の引き回しを排除するショートシグナルパスにより、透明感が高く情報量の豊かなサウンドを実現しています。13.4ch のプリアウトを装備しているため、ハイトスピーカーの追加やパワーアンプの強化など、システムの拡張が柔軟に行えます。

CINEMA 30 は使用しないパワーアンプを信号ラインから切り離し、高品位なプリアンプとしての使用を可能にする「プリアンプモード」を搭載しています。11ch すべてのパワーアンプの動作を停止できるだけでなく、チャンネル毎に個別にオン/オフの設定を行うこともできます。

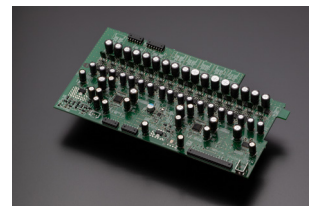
4 系統のサブウーファープリアウト

CINEMA 30 は、独立した 4 系統のサブウーファープリアウトを装備しており、音量レベルとリスニングポジションまでの距離を個別に設定することができます。マニュアルでの設定に加え、Audyssey Sub EQ HT™ による自動設定も可能です。4 系統のサブウーファーすべてから同じ音を再生する「スタンダード」と各サブウーファーの近くにある「小」に設定されたスピーカーの低音を再生する「指向性」の 2 モードから選択することができます。

※サブウーファーモードを「指向性」に設定している場合は、AudysseySub EQ HT は機能しません。

AV 10 と同じ設計思想で作られた D/A 変換回路

D/A 変換回路は、HDMI などのデジタル回路からもアナログオーディオ回路からも独立した専用基板にレイアウトすることで、回路間の干渉の最小化、理想的なパーツの配置、そして信号経路の最適化を実現しています。DAC チップには、AV 10 と同様に音質面で有利な電流出力型を採用。さらに妥協の無い I/V 変換回路によって電流出力型 DAC のパフォーマンスを最大限に引き出し、Hi-Fi グレードの音質を実現しています。DAC 回路に供給される電源の品質にもこだわり、電源トランスの巻き線から完全に独立した DAC 回路専用の電源回路とすることにより、デジタル回路やパワーアンプなど、消費電力の大きな回路からの干渉を排除しています。

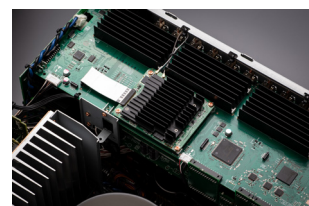


クロック・ジッター・リデューサー

CINEMA 30 は、デジタルオーディオ回路が動作する基準となるクロック信号に含まれるジッターを取り除くクロック・ジッター・リデューサーを搭載しています。D/A コンバーターを始めとするデジタルオーディオ回路を正確なタイミングで動作させることにより、低歪みで原音に忠実な再生を行います。

高周波ノイズコントロール

CINEMA 30 には、AV 10 の開発で培われたノウハウを投入し、徹底的なノイズ対策を施しています。高い周波数で動作するデバイスは、通信ラインが最短になるように配置し、DSP や HDMI ビデオ信号を扱う IC などの消費する電流の変動が大きなデバイスには専用のレギュレーターを追加。そして、DSP やネットワーク、USB などのデジタル回路への電源供給には専用のトランスを使用し、アナログ回路との相互干渉を排除しています。



シールドにより回路間のノイズの飛び込みを抑え、電源ラインに流入するノイズはデカップリングコンデンサーを用いて除去しています。コンデンサーの品種や定数は、サウンドマスターによる試聴を繰り返し CINEMA 30 に合わせて最適なものを選定。シャーシには、プレミアム Hi-Fi コンポーネント同様に銅メッキシャーシを採用。銅メッキによってシャーシを低インピーダンス化することにより、グラウンド電位を安定させ低ノイズ化を図っています。さらには基板やシャーシを固定するビスやワッシャーの種類を使用する箇所に応じて変更しグラウンドインピーダンスを最適化するなど、これまでに積み重ねてきた様々なノウハウを用いて音質をまとめ上げています。



全チャンネル同一のスクリー式スピーカー端子

すべての端子にスピーカーケーブルを確実に締め付けることができるスクリー式のスピーカー端子を採用。抜き差しが容易なバナナプラグにも対応しています。各スピーカー端子は水平に配置されており、容易にケーブルを接続することができます。付属するリアパネルの表示と同色のケーブルラベルをスピーカーケーブルに貼り付ければ誤配線の心配なしに接続が行えます。



Audyssey MultEQ XT32

専用マイクによるオートセットアップ機能「Audyssey MultEQ XT32」を搭載。下位グレードである Audyssey MultEQ XT に対して 32 倍のフィルター解像度で補正を行います。これは、映画館における補正に用いられる Audyssey MultEQ Pro と同じフィルター解像度であり、ホームシアターにおいても極めて高い精度で音場補正を行うことができます。最大 8 ポイントでの測定結果をもとに、スピーカーの距離、レベル、およびサブウーファークロスオーバー周波数を最適な状態に自動設定。さらに、接続されたスピーカーとリスニングルームの音響特性を測定・解析し、時間軸と周波数特性の両方を補正することで、ルームアコースティクスを最適化。簡単な操作でクリアな定位、シームレスで流れるようなサラウンド効果を楽しむことができます。4 台のサブウーファークロスオーバーを個別に測定、および補正する「Sub EQ HT*」も搭載しており、それぞれに最適な設定を自動で行うことができます。また、セットアップマイクを取り付けるためのマイクスタンドを付属。マイクの高さを座ったときの耳の高さに合わせて測定することで、より精度の高い補正結果を得ることができます。ドルビーイネードスピーカーについては、Audyssey MultEQ による自動補正に加え、天井までの高さを設定することでさらに補正の精度を高めることができます。

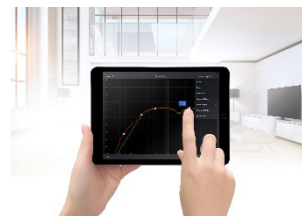
Audyssey MultEQ Editor

「Audyssey MultEQ Editor」アプリには、AV アンプ単体では設定できない詳細な調整項目が用意されているため、部屋に起因する音響的な問題に対してさらに精密なカスタマイズが可能になり、個々のユーザーの好みも反映した理想的なサウンドを実現することができます。インストーラーやホームシアターのエキスパートがこのアプリを使うことによって Audyssey MultEQ の能力を最大限に引き出すことができます。

※有料アプリです。販売価格については各アプリストアをご覧ください。

Audyssey MultEQ Editor アプリの主な機能

- スピーカー検出結果の表示と編集（スピーカータイプ、距離、レベル）
- Audyssey MultEQ によるルーム補正前後の周波数特性の比較（チャンネルごと）
- Audyssey MultEQ ターゲットカーブの編集（チャンネル・ペアごと）
- Audyssey MultEQ 適用周波数の設定（チャンネル・ペアごと）
- 高域周波数ロールオフ特性の設定（2 種類）
- 中音域の補正のオン/オフ（明るいサウンド、スムーズなサウンドを切り替え、チャンネル・ペアごと）
- 補正・編集結果の保存と、保存した結果の読み込み



Dirac Live に対応

CINEMA 30 は、特許技術により周波数特性だけでなく、部屋内の反射やスピーカーの位置のずれに起因する音の遅延についても測定、補正を行う音場補正機能「Dirac Live」に対応しています。Dirac Live Room Correction / Dirac Live Bass Control のライセンスおよび対応する測定用マイクを購入することで、Dirac Live によるサウンドの最適化が利用可能になります。Dirac Live Room Correction は、複数のスピーカー、複数のリスニングポイントに対し、マイクによる測定データから最適な補正結果を導き出し、多様な視聴環境において非常に広いエリアのスイートスポットを実現。1 人で音楽に没頭する場合や、複数人で映画を楽しむ場合でも、変わりなく良好な視聴環境で楽しむことができます。Dirac Live Bass Control は、複数台のサブウーファークロスオーバーの低音調整に対応しており、リスニング・ポジションによる音の変化をなくし、サブウーファークロスオーバーの位置に関係なく、部屋全体にスムーズで均一な低音をお届けします。また、Dirac Live は、ノート PC と Dirac 認証の USB マイクを使用すれば、AV アンプが機材室など手の届かない場所にあっても測定と補正を実行することができます。

8K/60Hz、4K/120Hz に対応する HDMI 入出力

HDMI 入力 7 系統、出力 2 系統 (TV 1 / 2) が 8K/60Hz および 4K/120Hz 映像信号のパススルーに対応しています。また、7 入力/3 出力すべての HDMI 端子が最新の映像コンテンツに対する著作権保護技術「HDCP 2.3」に対応。衛星放送やインターネットを通して配信される 4K/8K Ultra HD コンテンツの超高精細映像をハイクオリティなサウンドとともに楽しむことができます。



※8K 対応プレーヤーを接続する際は、「Ultra High Speed 48 Gbps HDMI」ケーブルをご使用ください。

8K/60Hz

4K/120Hz

7in/3out

HDCP 2.3

HDR10+、Dynamic HDR に対応

CINEMA 30 は、映像のダイナミックレンジを拡張する「HDR (High Dynamic Range)」映像信号のパススルーに対応しています。HDR10、Dolby Vision、HLG (Hybrid Log-gamma) に加えて、HDR10+および Dynamic HDR にも対応しているため、最新のパッケージメディア、ストリーミング、放送などソースを問わず表現力豊かな HDR 映像を楽しむことができます。



COMPATIBLE WITH
Dolby Vision

Dynamic HDR

HLG

HDR10

eARC、CEC に対応

CINEMA 30 は、従来の ARC (Audio Return Channel) に加え、「eARC (Enhanced ARC)」にも対応しています。eARC では、テレビから AV アンプへの 5.1ch や 7.1ch のリニア PCM 信号や Dolby TrueHD / DTS-HD Master Audio などのロスレスオーディオ、Dolby Atmos / DTS:X などの 3D オーディオフォーマットの伝送が可能です。またテレビとの電源 ON / OFF や入力切替などの連携を可能にする HDMI CEC にも対応しています。

eARC

ARC

CEC

ゲーム&VR 体験の質を向上させる ALLM、VRR、QFT に対応

CINEMA 30 は、HDMI 2.1 の新機能である「ALLM (Auto Low Latency Mode)」、「VRR (Variable Refresh Rate)」、「QFT (Quick Frame Transport)」に対応しています。ALLM は、ゲームや VR コンテンツなどを再生する際に自動的に映像のレイテンシーを最小化し、操作に対する画面表示の遅れを抑制する機能です。VRR は、PC やゲーム機などの映像ソース機器とディスプレイを同期させ、任意のタイミングでリフレッシュレートを切り替えることを可能にします。これにより画面割れ (ティアリング) やカクつきなしに映像を表示することができます。QFT は、ディスプレイ側のフレームレートは変更せずに、映像ソース機器からの伝送速度を上げることでレイテンシーを低減し、ゲームや VR コンテンツにおける表示の遅延を解消し、スムーズでシームレスな映像を実現します。

ALLM

VRR

QFT

8K アップスケーリング

CINEMA 30 は、入力された HDMI 映像信号を出力するディスプレイの性能に合わせて、8K や 4K などにアップスケーリングして HDMI 出力することができます。

※フレームレート変換は行いません。

ビデオコンバージョン機能

CINEMA 30 は、コンポーネントビデオ入力端子およびコンポジットビデオ入力端子から入力された 480i / 576i のアナログ映像信号をデジタル映像信号に変換して HDMI 端子から出力することができます。

※アップスケーリングおよびフレームレート変換は行いません。

HDMI スタンバイパススルー

本機がスタンバイ状態でも、ソース機器からの HDMI 入力信号を TV に出力することができます。また本機がスタンバイ状態でもリモコンの入力ソース選択ボタンで本機の入力ソースを切り替えることができます。

HEOS Built-in 充実のネットワークオーディオ機能

ワイヤレス・オーディオシステム「HEOS」のテクノロジーによるネットワークオーディオ機能を搭載。セットアップ、操作は無料の HEOS アプリで誰でも簡単に行うことができます。音楽ストリーミングサービスやインターネットラジオをはじめ、ローカルネットワーク上のミュージックサーバー（NAS / PC / Mac など）や USB メモリーに保存した音源やスマートフォン、タブレット、Bluetooth®機器など、多彩な音源を再生できます。さらに同一のネットワークに接続した他の HEOS Built-in デバイスに CINEMA 30 で再生中の音楽を配信することもできます。



音楽ストリーミングサービス、インターネットラジオ対応

話題のロスレス・ストリーミング配信サービス Amazon Music HDをはじめ、AWA、Spotify、SoundCloud など様々な音楽ストリーミングサービスに対応。ストリーミングサービスでは、これまでのように自分の好きなアーティストの楽曲を選んで再生することはもちろん、最新楽曲から往年の名曲まで、音楽のジャンル、時代、その日の気分などで選べる多種多様なプレイリストが豊富に用意されているため、新たな音楽との出会いの可能性が無限に広がります。また、音楽、トーク、ニュースなど世界中のインターネットラジオも楽しむことができます。MP3、WMA、AAC フォーマットで配信されているインターネットラジオ放送に対応しています。インターネットラジオ局の検索は、「TuneIn」のデータベースからジャンルや地域、言語などをもとに簡単に行うことができます。

※サービスの利用には別途登録・契約や料金が必要な場合があります。

5.6 MHz DSD & ハイレゾ音源対応



ミュージックサーバーや USB メモリーに保存した DSD ファイルやハイレゾ音源の再生に対応しています。DSD ファイルは 5.6MHz まで、PCM 系ファイルは 192kHz/24bit まで再生することができます。さらに、DSD、WAV、FLAC、Apple Lossless ファイルのギャップレス再生にも対応。クラシック音楽や、ライブ盤などを聴いても曲間で音が途切れることがありません。

ネットワーク/USB メモリー対応フォーマット

フォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	ビットレングス	拡張子
DSD	2.8 / 5.6 MHz	—	1 bit	.dsf / dff
WAV	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz	—	16 / 24 bit	.wav
FLAC	44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz	—	16 / 24 bit	.flac
ALAC	44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz	—	16 / 24 bit	.m4a
MP3	32 / 44.1 / 48 kHz	32 - 320 kbps	—	.mp3
WMA	32 / 44.1 / 48 kHz	48 - 192 kbps	—	.wma
AAC	32 / 44.1 / 48 kHz	48 - 320 kbps	—	.aac/m4a

※著作権保護のないファイルのみ再生できます。 ※FAT32 または NTFS フォーマットの USB メモリーに対応しています。 ※すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。 USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

AirPlay 2 対応



iPhone や iPad、Mac などから手軽に音楽を再生できる「AirPlay 2」に対応。 Apple Music やアプリなどの音声を CINEMA 30 で楽しむことができます。 また複数の AirPlay 2 対応機器によるマルチルーム再生にも対応しています。

※サービスの利用には別途登録・契約や料金が必要な場合があります。

Bluetooth 対応



スマートフォンやタブレット、PC などの Bluetooth (A2DP プロファイル) 対応機器からのワイヤレス音楽再生に対応。 AVRCP プロファイルにも対応しているため、本機のリモコンで再生、一時停止、スキップなどの操作を行うこともできます。 最大 8 台までの Bluetooth 機器とペアリングすることができます。

Bluetooth 送信機能も搭載

CINEMA 30 は、Bluetooth 送信機能も搭載しており、本機で再生中の音声を Bluetooth ヘッドホン等でも再生することができます。 たとえば、リビングのスピーカーで再生している音楽をキッチンで家事をしながらヘッドホンで一緒に聴いたり、夜間などスピーカーで大きな音が出せない時間帯に Bluetooth ヘッドホンで映画を楽しんだりすることができます。

※ Bluetooth 受信機能と Bluetooth 送信機能を同時に使用することはできません。

2.4GHz / 5 GHz デュアルバンド Wi-Fi (IEEE 802.11 a/b/g/n/ac) 対応

CINEMA 30 は、Wi-Fi (無線 LAN) 接続に対応しているため、設置場所に有線 LAN 環境がなくても、ネットワークオーディオ、インターネットラジオの再生やアプリでの操作が行えます。 2.4 GHz 帯に加えて 5 GHz 帯にも対応しており、より安定した通信が可能です。 ルーターへの接続は、ボタンひとつでつながる「WPS」や iOS デバイス (iOS 7 以降) による設定にも対応。 テレビ画面に表示されるガイダンスに沿って簡単な操作でネットワーク接続が行えます。

Phono 入力装備

MM カートリッジ対応の Phono 入力を装備しています。フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーでも直接接続して手軽に楽しむことができます。

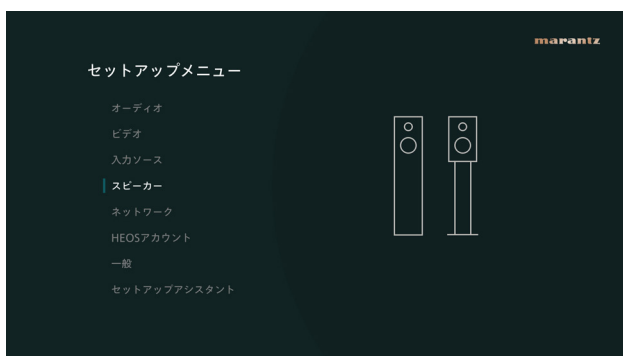
Marantz AVR Remote アプリ

無料のスマートフォン、タブレット用リモコンアプリ「Marantz AVR Remote」に対応。同一ネットワーク内の iPhone や iPad、Android スマートフォン、タブレットから CINEMA 30 の操作や設定が行えます。



高解像度で読みやすく、洗練されたデザインの HD GUI

従来から直感的で分かりやすい操作感が高く評価されていたセットアップメニューを刷新しました。テキストや画像の表示解像度を上げ、テキストの読みやすさや画像の視認性を高めました。デザインもより洗練され、現代的なものへと生まれ変わりました。



セットアップアシスタント

テレビ画面に表示される操作ガイドに沿って、誰でもかんたんに接続と初期設定ができるセットアップアシスタント機能を搭載。スピーカーの接続と設定、ネットワークの接続、入力機器の接続までをテレビ画面に表示される画像とテキストで初心者にも解りやすくガイドします。

スマートセレクト機能

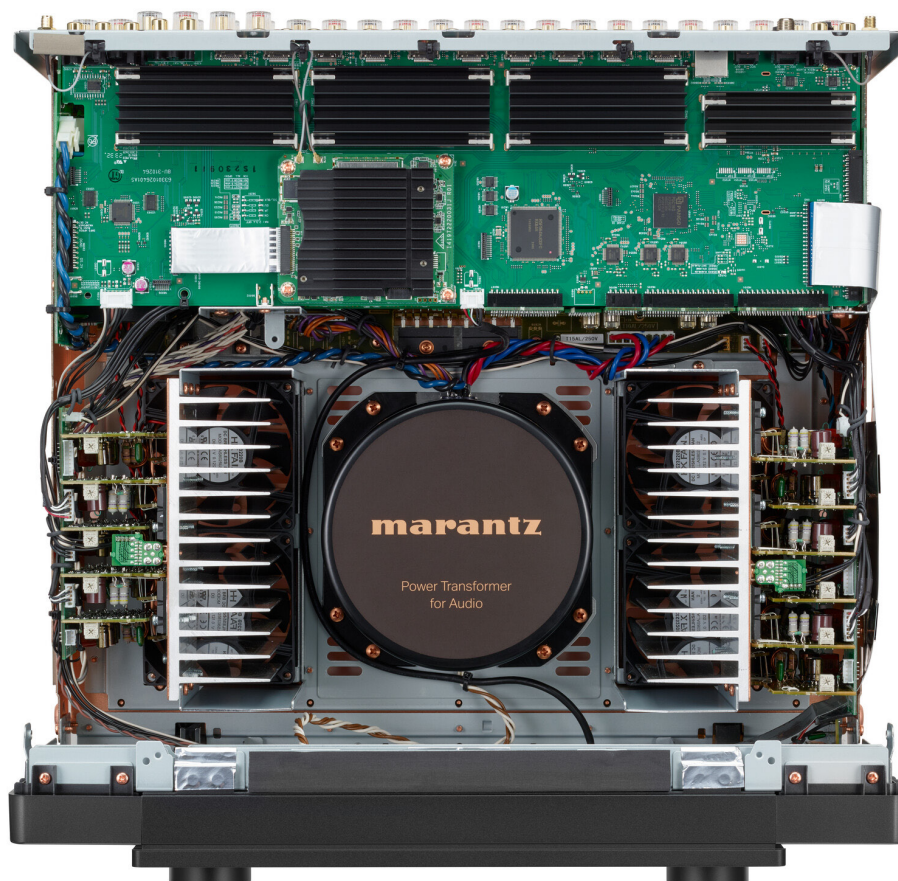
リモコン上の 4 つのスマートセレクトボタンに入力ソース、音量レベル、サウンドモードの設定などを登録することができます。スマートセレクトボタンを押すだけで、登録した複数の設定をまとめて切り替えることができます。

マルチゾーン機能 (3 ゾーン/3 ソース)

CINEMA 30 は、メインゾーンで 11ch すべての内蔵パワーアンプを使用していない場合には、そのアンプをゾーン 2、およびゾーン 3 に割り当てることができます。ゾーンごとに個別に入力の選択やボリュームの設定ができるため、複数の部屋で異なるコンテンツを楽しむことができます。また、All Zone Stereo 機能を使用すれば、メインゾーンで再生中の音声ですべてのゾーンで再生することもできます。また、ゾーンプリアウトに外部パワーアンプを接続して、ゾーン 2/ゾーン 3 のスピーカーを鳴らすこともできます。

その他の特長

ピュアダイレクト機能 / トーンコントロール (Bass \pm 6dB、Treble \pm 6dB) / テレビや映画など、コンテンツ内における音量レベルの変化を抑える「Audyssey Dynamic Volume」 / 人間の聴覚や部屋の音響特性を考慮し、小音量時に発生する音質の低下を防ぐ「Audyssey Dynamic EQ」 / 圧縮音源を原音に近い状態に復元する「M-DAX (Marantz Dynamic Audio eXpander)」 / 3D 映像伝送対応 / Web ブラウザで設定ができる Web コントロール機能 / バックライト付きリモコン / スリープタイマー機能 (10 分~120 分) / オートスタンバイ機能 (15 / 30 / 60 分) / 着脱式電源ケーブル



Specifications

搭載パワーアンプ数	11 ch
定格出力	140 W + 140 W (8 Ω、20 Hz - 20 kHz、THD 0.05 %)
実用最大出力	250 W (6 Ω、1 kHz、THD 10%、1 ch 駆動、JEITA)
適合インピーダンス	4 - 16Ω
S/N 比	102 dB (IHF-A、ダイレクトモード時)
周波数特性	10 Hz - 100 kHz (+1、-3 dB、ダイレクトモード時)
HDMI 端子	入力×7 (8K 対応入力×7)、出力×3 (8K 対応出力×2)
映像入力端子	コンポーネント×1、コンポジット×2
音声入力端子	アナログ×7、Phono (MM) ×1、光デジタル×2、同軸デジタル×2
音声出力端子	13.4ch プリアウト×1、ゾーンプリアウト×2、ヘッドホン×1
その他の端子	ネットワーク×1、USB (フロント) ×1、USB-A×1 (リア、5V/1.5A 給電専用)、 セットアップマイク入力×1、Bluetooth/Wi-Fi アンテナ入力×2、 RS-232C×1、DC トリガー出力×3、フラッシュャー入力×1、 マランツリモートバス (RC-5) 入出力×1
無線 LAN	ネットワーク種類 IEEE 802.11 a/b/g/n/ac 準拠 (Wi-Fi®準拠) 周波数 2.4 GHz / 5 GHz
Bluetooth	バージョン 5.4 対応プロファイル 受信: A2DP 1.4 / AVRCP 1.5、送信: A2DP 1.4 対応コーデック SBC 送信出力 / 通信距離 Class 1 / 約 30 m (見通し距離)
電源	AC 100V、50 / 60 Hz
消費電力	780 W
待機電力	0.2 W (通常スタンバイ) / 0.5 W (CEC スタンバイ)
最大外形寸法	W442 x H189 x D457 mm (アンテナを寝かせた場合) W442 x H257 x D457 mm (アンテナを立てた場合)
質量	19.4 kg
付属品	かんたんスタートガイド、保証書、リモコン (RC051SR)、単 4 形乾電池×2、 セットアップマイク、マイクスタンド、ケーブルラベル、 Bluetooth / Wi-Fi アンテナ×2、電源コード

※製品の仕様、および外観は、改良のため予告なく変更される場合があります。

Product Images

